

平成 30 年 3 月 12 日掲載

<子供たちに税の使途について考える機会を提供した好事例>

考えてみましょう！これからの社会と税

川口法人会（埼玉）

<活動対象> 中学生

<活動の概要>

- ・「考えてみましょう！これからの社会と税」をテーマに、社会保障費・公債残高の増加、少子高齢化問題による現役世代の負担増加、等の問題に対してどうしたら良いかという事前アンケートを実施。
- ・租税教室当日は税について学ぶ授業の後にグループ討議を実施。上記の問題に関するディスカッションを通して内容をまとめて、「私ならこうする」という意見を各クラスの代表班と希望者が発表した。その際、歳出を増やす場合は必要となる財源を明確にすることを条件とした（例 教育費大学まで無料とする場合は、消費税を30パーセントまで引き上げる）
- ・子供たちが今しっかり勉強して創意工夫することで、未来を明るくできる、というメッセージを伝えた。

<参考資料>

租税教室資料概要

<摘要>

特になし

<出典>

全法連 HP 「法人会リレーニュース」

<http://www.zenokuhojinkai.or.jp/relaynews/12045/>